



個性創造 プロジェクト

公益の心と個性あふれる人、地域の創造

プロジェクト推進の方向性

少子高齢化や核家族化、生活の多様化などから、地域での家族や世代を越えた「かかわり」が低下するなど、子どもたち、そして私たちをとりまく環境は大きく変化しています。地域づくりは人づくりを基本に、家庭や学校、地域が一体となって、「公益の心」を育み、夢あふれる未来に向かう酒田っ子を育成します。また、生涯学習活動やスポーツ・レクリエーションに親しみと生きがいを感じながら、学んだ成果を地域

づくりに生かせる人づくりを進めます。

本市は、鳥海山、最上川、庄内平野などの雄大な自然に恵まれ、風格ある歴史と伝統文化に培われた港町であり、進取の気風に富むまちとして発展してきました。この特色ある資源を大切に継承し発展させ、人づくりと一体となって個性ある地域づくりを進めます。

プロジェクトを進めるための施策

重点施策

1

未来に向かう酒田っ子の育成



自ら考え生きる力を育てる

◎個別施策

- ・ 体験活動の充実
- ・ 子どもの体力向上事業の推進
- ・ 開かれた学校づくりの推進
- ・ 特別支援教育^{*14}および教育相談体制の充実
- ・ 確かな学力の向上
- ・ 学区改編および統合再編の検討、実施
- ・ 読書活動の推進

◎目標数値

項目	算出方法	現状 (18年度)	5年後 (24年度)	10年後 (29年度)
公益、道徳性を養う 体験学習の割合	小学校の実施校数の割合	46.6%	70.0%	100.0%
体力向上の割合	小学3年生の50m走の平均 ()内は18年度の参考数値	市平均 (男子10.41秒) (女子10.54秒)	県平均以上 (男子10.32秒) (女子10.50秒)	全国平均以上 (男子10.17秒) (女子10.45秒)
不登校児童と生徒の割合	全児童生徒に対する出現率	小 0.1% 中 2.5%	小 0.1%未満 中 2.0%	小 0.1%未満 中 1.3%

- ・ 公益、道徳性を養う体験活動の実施割合を目標数値として、「公益の心」の醸成を図ります。
- ・ 運動能力の基礎となる50m走の平均が、県、全国平均より低い状況にあり、5年後には県平均、10年後には全国平均を上回ることを目標数値として、体力の向上を図ります。
- ・ 不登校児童、生徒の割合を少なくすることを目標数値として、相談体制の充実や他を思いやる心の醸成等を図ります。

*14 特別支援教育：従来の特殊教育の対象障がい（視覚障がい、聴覚障がい、知的障がい、肢体不自由など）だけでなく、注意欠陥・多動性障がい（AD/HD）、学習障がい（LD）などの軽度発達障がいも含めて、障がいのある子どもの自立や社会参加に向け、一人ひとりの教育ニーズに応じた適切な支援教育。

重点施策 2

生涯学習と生涯スポーツを通じた人づくり、まちづくり



健康スポーツ・レクリエーションの普及

◎個別施策

- ・各年代期に適した学びとスポーツの推進
- ・健康スポーツ・レクリエーションの普及
- ・生きがいつくり、仲間づくりへの支援の充実
- ・図書館のネットワーク化によるサービスの充実

◎目標数値

項目	算出方法	現状 (18年度)	5年後 (24年度)	10年後 (29年度)
生涯学習事業の満足度	アンケート調査	73.0%	76.0%	80.0%
図書館利用の割合	館外貸出冊数	457,000冊	555,000冊	635,000冊
	館外貸出人数	127,000人	137,000人	139,000人
運動習慣者の割合の増加	アンケート調査	男 36.2%	39.0%以上	42.0%以上
		女 33.2%	35.0%以上	38.0%以上

- ・中央公民館主催事業の参加者に対する満足度アンケート調査値を目標数値として、学習意欲の高まりを図ります。
- ・図書館利用者と貸出冊数を目標数値として、読書意識の高まりを図ります。
- ・健康さかた21後期計画の市民アンケート調査における運動習慣者の割合を目標数値として、健康、スポーツへの意識や取り組みの高まりを図ります。

重点施策 3

歴史と文化が織りなす人づくり、まちづくり



次世代に伝える伝統芸能(黒森歌舞伎)

◎個別施策

- ・民俗芸能、伝統行事の保存、継承と活用
- ・さかた歴史街道事業の推進
- ・自主的文化活動の促進と企画運営ができる人材育成
- ・歴史文化、自然資源の観光活用

◎目標数値

項目	算出方法	現状 (18年度)	5年後 (24年度)	10年後 (29年度)
民俗芸能保存団体の育成、組織化数	民俗芸能保存会登録団体数	24団体	30団体	36団体
市民芸術祭入場者数	入場者数実績	23,500人	24,200人	24,900人
文化施設の利用者数	利用者数実績	276,000人	281,000人	286,000人

- ・民俗芸能保存会加入団体の増加を目標数値として、保存、継承活動の活性化を図ります。
(平成18年度調べでは、82の活動団体がある。)
- ・市民芸術祭入場者の増加を目標数値として、芸術文化活動の活性化を図ります。
(平成18年度は第50回記念のため、平成17年度の入場者数を使用)
- ・文化施設の利用者数を目標数値として、文化意識の高まりや交流人口の増加を図ります。